

# 万葉の里さんぽみち



## 有害鳥獣の捕獲を実施

5月24日(日)、大衡村鳥獣被害対策実施隊によるカラスやカルガモ等の有害鳥獣捕獲を実施しました。

隊員5名が村内一円を巡回し、カラス37羽、カルガモ4羽を捕獲しました。

カラス、カルガモ等の捕獲は、水稻に影響を及ぼす前に行うことから「予察捕獲」と言われ、春の田植え後と秋の稲刈り前の年2回実施しています。

また、年間を通してイノシシの捕獲活動を行っており、昨年は86頭を捕獲しました。



▲大衡村鳥獣被害対策実施隊の皆さん

## 心豊かな地域づくりをめざして

6月7日(日)、すばらしい大衡を創る協議会主催の「花いっぱい運動」が村内全域で実施されました。

心豊かな地域づくりを目指す一環で、早朝から皆さんにご協力をいただき、各地区の集会所や道路沿いの花壇等にペゴニア、マリーゴールド、サルビア、キキョウの苗合わせて約4,600株が植えられました。

なお、各地区ごとに新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら行われました。



株式会社エフ・ディ・エヌ様(仙台市)より、新型コロナウイルス感染症予防として、高精度次亜塩素酸水をいただき、5月26日(火)、顧問の坂上満様から齋藤副村長に手渡されました。

また、株式会社VIS-IT東北様(丸森町)より弱酸性次亜塩素酸水生成剤をいただきました。寄贈品は有効に活用させていただきます。



▲株エフ・ディ・エヌ顧問坂上さん(写真左)

大衡村災害応急措置協力会様より新型コロナウイルス感染症対策として、多額の寄付金をいただき、6月17日(水)、会長の堀籠友也様から萩原村長へ目録が手渡されました。

寄付金は有効に活用させていただきます。



▲大衡村災害応急措置協力会 堀籠会長(写真中央)と松川副会長(写真左)

あたたかい善意をありがとうございます

## 第六次総合計画

# 「新しい時代につなぐ豊かな万葉の里・おおひら」をめざして

## まちづくりの基本方針② 「みんなが参加し、交流でにぎわうまちづくり」

本村の基幹産業である農業は、農地面積が約1,363haと、村面積6,032haの約23%を占めています。農業産出額は平成16年から平成26年にかけて減少傾向にありましたが、その後増加し、平成29年には14.6億円となり、平成26年と比較して2.5億円の増となっています。

工業(製造業)においても、製造品出荷額が平成29年に約3,300億円と平成17年の5倍以上に増加しており、本村の特徴である農工併進を基本とした産業振興を推進します。

また、本村には村外から多くの交流人口が訪れる万葉クリエートパーク等の観光資源があるため、歴史・文化や自然環境等の魅力を最大限に生かしながら交流人口の拡大を目指し、それを活用して地域産業の活性化といった相乗効果によるまちづくりを展開していきます。

### 【主な施策】

#### ◆特産品の創出

生産者のこだわりを地場産品としてPRするなど、農産物に付加価値を付けるための支援を推進します。

また、きのこや山菜といった食料供給のための森林を整備し、栽培、加工等を促進します。



#### ◆観光まちづくりの推進

「万葉・おおひら館」において農家と協力し、野菜の詰め放題イベントや野菜等のもぎとり体験といった販売促進策を図るとともに、地域振興施設の整備方針を検討して住民の交流と地域の活性化を目指します。

また、観光施設の充実を図り、交流人口の拡大に努めます。



#### ◆気軽に集えて交流できる場づくり

カフェ、図書館、文化ホール、コミュニティスペース等がまとまり、村内外の多様な人々が気軽に集えて交流でき、大衡のよりどころとなる複合交流施設の整備を検討します。

